

## 子供たちの舞台芸術

# 明日の舞台を 夢見て。。。。



昨年の三月にロゼシアターで上演された

「新竹取物語 お姫さまの出發」

ロゼシアターが完成して  
はや一年半。

身近な場所で

数多くの音楽や演劇を

鑑賞できるようになりました。

そして今

私たちのもつと身近で

もつとすてきな舞台芸術が

花開こうとしています。

まるで

磨けば一流の輝きを見せる

まだだれも気づいていない

ダイヤの原石のように。



池谷美奈子さん

(富士中2年)

私がモダンバレエを始めたのは、五歳のときです。母の勧めでピアノや水泳教室に行ったこともあったけど、長続きしませんでした。でも、バレエは別。今とても楽しいです。

三月から四月にかけてニューヨークへ行き、カーネギーホールでの公演に参加しました。最初はお手伝いとして行く予定だったので、観光気分でした。けれど、自分も舞台上に立てることになって・・・緊張というより、実力を認められてうれしかったですね。

ニューヨークでは、ブロードウェイのミュージカルも見てきました。とにかくダンスがすごかったです。私は、昨年の市民ミュージカル「ディアナ号」や、児童劇団つばさの公演にも参加しています。上演後の大きな感動は、ほかの人には体験できないものだと思います。ダンスや演劇って、つらいこともあるけど、満足感の方が大きいですね。(笑)



ことし創立20周年を迎えた  
富士子ども劇場の運営委員長

## 高田 澄江さん

(本市場)

富士子ども劇場は、すばらしい舞台芸術を親子で鑑賞しながら、子供たちの夢と創造性を育て、感性を磨こうと、子育て中の父母で運営されています。具体的には、鑑賞する子供の年齢などに合わせて三つのコースを用意し、上演作品を選び、劇団を招きます。子供たちには、生の舞台を見て、生の感動を味わってほしいと思います。富士子ども劇場は、ことしで創立二十周年を迎えました。記念事業として三月二十四日から三日間、富士市民センターで舞台芸術フェスティバルを開催。今回は、会員だけでなく、多くの親子に楽しんでもらえるよう計画しました。おかげで六つの公演やフリーマーケット、展示コーナーなどに、何と三千人以上の観客が訪れたんです。公演の一つに、児童劇団「つばさ」と富士演劇研究会との合同公演がありました。「つばさ」は、富士子ども劇場で演劇を見てきた子供たちが、自分たちも舞台上に立ちたいと旗上げた児童劇団です。衣装や道具づくりなど、親子が協力し合っこそ、一つの公演が成り立ちます。子供たちも楽しく演じていたようですよ。

「子ども劇場」は、全国で活動しています。富士市には、約二千六百人の会員がいますが、市の人口の1%以上の会員がいるのは、全国でもまれなんです。それでもまだ「子ども劇場」のことを知らない人が、たくさんいます。富士子ども劇場の活動内容を、もっと多くの人に知ってほしいですね。

子供は、無限の可能性を秘めています。  
キラキラまばゆいばかりの可能性を。

富士市少年少女合唱団は、昭和四十九年に吉原市民会館の自主事業として創立されました。今まで、多くの子供たちが、この合唱団を巣立っています。

現在の団員は、幼稚園年長児から高校生までの約六十人。六年前から表現方法の一つとしてオペレッタを取り入れています。オペレッタとは、簡単に言うと歌劇のこと。特に昨年の三月と九月に口ゼシアターで上演した「新竹取物語お姫さまの出發」は、多くの観客を魅了しました。指導者の辻村典枝さんは、「音楽で心を動かし、音楽で心に栄養を与え、音楽で心を休めなさい」と、いつも子供たちに教えているそうです。



## 富士市少年少女合唱団

### 富士市少年少女合唱団団員募集

練習日時 毎週水曜日、幼稚園～小3は16:00～17:00、小4～高校は17:30～19:30  
練習場所 富士市民センター  
問い合わせ 辻村 方へ ☎52-5513



◁富士市少年少女合唱団の練習の様子